



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 082-243-5844

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,946	6.7	994	139.9	1,185	102.9	709	148.1
24年3月期第2四半期	22,438	1.0	414	△42.6	584	△30.2	286	△28.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 363百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.45	—
24年3月期第2四半期	6.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,982		25,372			53.9
24年3月期	45,430		25,184			55.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 25,310百万円 24年3月期 25,127百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	2.5	2,300	118.6	2,500	80.8	1,550	64.5	35.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	43,844,932 株	24年3月期	43,844,932 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	689,452 株	24年3月期	688,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	43,156,327 株	24年3月期2Q	43,159,627 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心とした医療市場が拡大する中で、現地及び各国メーカーによる競争が激化しております。また、国内においては、平成24年4月に診療報酬と介護報酬が同時に改定され、医療機器・材料に関する償還価格が大幅に引き下げられる等、引き続き厳しさが増しておりますが、本格化する高齢社会に対応する医療機器や多様なサービスの提供が求められる等、新たな市場も現れつつあります。

このような環境の中、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、「医療の安全」「医療の効率化」「再生医療」の3つをキーワードとして、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ15億8百万円増加の239億46百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

利益につきましては、増収による利益増加が人件費等の固定費を吸収したことに加え、在外子会社において為替が有利に作用したため、営業利益は9億94百万円（前年同四半期比139.9%増）となりました。また、持分法による投資利益を計上したことにより、経常利益は11億85百万円（前年同四半期比102.9%増）となり、税金費用等を差し引いた結果、四半期純利益は7億9百万円（前年同四半期比148.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 日本

血液透析装置の販売や人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長したため、売上高は197億37百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により7億43百万円（前年同四半期比196.9%増）となりました。

#### ② 東南アジア

日本向けの人工腎臓用血液回路の販売や米国向けの成分献血用回路の販売が好調に推移したため、売上高は69億16百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。また、セグメント利益については、増収に加え為替が有利に作用したため黒字となり2億54百万円となりました。

#### ③ 中国

日本向けの輸液セットの販売や中国国内向けのAVF針（血液透析用針）の販売が引き続き堅調に推移したため、売上高は15億34百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。また、セグメント利益については、労務費及び製造経費の上昇により17百万円（前年同四半期比79.7%減）となりました。

#### ④ ドイツ

ドイツ国内向けのAVF針の販売は引き続き伸長したものの、透析用チェアーの販売が減少したため、売上高は12億53百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。また、セグメント利益については、ユーロ安に伴う仕入価格の上昇により74百万円（前年同四半期比46.2%減）となりました。

⑤ アメリカ

北米向けのAVF針の販売が低調に推移したものの、誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加したため、売上高は11億9百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。また、セグメント利益については、市場価格の低下の影響を受け67百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

⑥ その他

売上高は6億4百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比88.6%増）となりました。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の算定方法に基づいております。詳細は「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報等」の「II 当第2四半期連結累計期間 3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

また、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億51百万円増加の469億82百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億74百万円増加の294億39百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億76百万円増加の175億42百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億67百万円増加の173億33百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億96百万円増加の42億76百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加の253億72百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上によるものであります。

なお、自己資本比率は1.4ポイント低下の53.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ7億61百万円減少の48億9百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ6億11百万円増加の18億74百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ3億78百万円増加の15億53百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ2億78百万円増加の11億28百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の実績は、当初の売上高予想値を上回ったものの、第3四半期以降の経営環境には依然として不透明さが残るため、平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表しました予想値を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、近年の事業環境及び生産体制の変化に伴い、事業全体の操業状況は比較的安定してきており、今後、設備投資による投資効果が長期安定的に見込まれることが明らかとなったことから、生産実態に応じたより合理的な費用配分を図ることが経営実態をよりの確に反映するものと判断したこと、及び、更なるグローバル展開への取り組み等を鑑み、当社グループの会計処理の統一を図るために行ったものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3億13百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,474	4,811
受取手形及び売掛金	14,991	13,963
商品及び製品	4,800	5,289
仕掛品	1,750	1,782
原材料及び貯蔵品	2,673	2,665
その他	881	931
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	28,564	29,439
固定資産		
有形固定資産	13,076	13,913
無形固定資産	708	708
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,086	2,925
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,080	2,920
固定資産合計	16,865	17,542
資産合計	45,430	46,982



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,271	7,352
短期借入金	3,306	3,965
1年内返済予定の長期借入金	1,235	1,405
未払法人税等	329	397
製品保証引当金	6	5
賞与引当金	992	1,000
資産除去債務	21	—
その他	3,303	3,206
流動負債合計	16,466	17,333
固定負債		
長期借入金	2,610	3,078
退職給付引当金	226	236
役員退職慰労引当金	30	30
資産除去債務	165	166
その他	746	764
固定負債合計	3,779	4,276
負債合計	20,245	21,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,522	6,522
資本剰余金	9,473	9,473
利益剰余金	11,755	12,292
自己株式	△270	△270
株主資本合計	27,481	28,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	△56
為替換算調整勘定	△2,385	△2,651
その他の包括利益累計額合計	△2,353	△2,708
少数株主持分	56	62
純資産合計	25,184	25,372
負債純資産合計	45,430	46,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	22,438	23,946
売上原価	16,250	17,092
売上総利益	6,187	6,853
販売費及び一般管理費	5,772	5,859
営業利益	414	994
営業外収益		
受取利息	21	3
受取配当金	12	11
持分法による投資利益	113	107
為替差益	33	76
その他	55	63
営業外収益合計	236	262
営業外費用		
支払利息	44	38
支払手数料	12	19
その他	8	13
営業外費用合計	66	70
経常利益	584	1,185
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産廃棄損	49	19
減損損失	14	—
投資有価証券評価損	—	46
特別損失合計	65	66
税金等調整前四半期純利益	522	1,120
法人税、住民税及び事業税	201	400
法人税等調整額	30	2
法人税等合計	231	402
少数株主損益調整前四半期純利益	290	717
少数株主利益	4	7
四半期純利益	286	709

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290	717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△87
為替換算調整勘定	△482	△266
その他の包括利益合計	△531	△354
四半期包括利益	△240	363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237	357
少数株主に係る四半期包括利益	△2	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	522	1,120
減価償却費	1,195	814
減損損失	14	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11	23
受取利息及び受取配当金	△33	△14
支払利息	44	38
為替差損益 (△は益)	6	20
持分法による投資損益 (△は益)	△113	△107
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△1
固定資産廃棄損	49	19
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	46
売上債権の増減額 (△は増加)	631	953
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△593	△583
仕入債務の増減額 (△は減少)	1	99
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38	34
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	200	△41
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△151	△283
その他	18	60
小計	1,761	2,199
利息及び配当金の受取額	33	85
利息の支払額	△44	△38
法人税等の支払額	△486	△370
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,263	1,874

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	163	4
有形固定資産の取得による支出	△1,268	△1,465
有形固定資産の売却による収入	4	1
無形固定資産の取得による支出	△73	△52
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	12	12
その他	△12	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,174	△1,553
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,750	7,550
短期借入金の返済による支出	△7,444	△6,885
長期借入れによる収入	1,500	1,300
長期借入金の返済による支出	△782	△662
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△172	△172
財務活動によるキャッシュ・フロー	849	1,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△188	△109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	749	1,340
現金及び現金同等物の期首残高	4,820	3,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,570	4,809

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	16,440	2,430	437	1,484	1,105	21,897	540	22,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,104	3,334	956	1	—	6,396	—	6,396
計	18,544	5,764	1,393	1,485	1,105	28,294	540	28,834
セグメント利益 又は損失(△)	250	△23	88	137	130	583	43	626

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	583
「その他」の区分の利益又は損失(△)	43
セグメント間取引消去	△88
持分法投資利益又は損失(△)	113
その他の調整額	△67
四半期連結損益計算書の経常利益	584

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,389	3,127	463	1,251	1,109	23,342	604	23,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,347	3,788	1,070	2	—	7,209	—	7,209
計	19,737	6,916	1,534	1,253	1,109	30,551	604	31,156
セグメント利益 又は損失(△)	743	254	17	74	67	1,157	81	1,238

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,157
「その他」の区分の利益又は損失(△)	81
セグメント間取引消去	△119
持分法投資利益又は損失(△)	107
その他の調整額	△40
四半期連結損益計算書の経常利益	1,185

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

従来、「投資損失引当金戻入額」は「特別利益」の項目としておりましたが、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を踏まえ、前連結会計年度より「投資損失引当金戻入額」は「営業外収益」の項目に含めております。

なお、この変更後の区分方法により、前第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却の方法については、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で248百万円、「東南アジア」で57百万円、「その他」で7百万円、それぞれ増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。